平成30年9月

道北支部ニュース

第124号

発行人　前田　健太郎
編集人　近藤　伸英

Index

✓ Academic　PT
✓ 道北支部活動報告
✓ 道北支部掲示板
✓ 役員会議議事録

Academic　PT

北海道理学療法士会の平成30年度の学術奨励賞、社会分野貢献賞においてそれぞれ道北支部の会員である内藤考洋先生（旭川リハビリテーション）と小林浩先生（森山メモリアル病院地域ケア支援センター）が受賞いたしました。

また、福田賞においても千葉恒先生（老健ふらの）の受賞が決まっております。

この3つの賞を道北支部の会員が同時に受賞するというは初めてのことであり、普段からの道北支部活動が認められたということだと思います。

内藤先生、小林先生に関しましては7月28・29日に開催された第69回北海道理学療法士学術大会において表彰されました。

千葉先生につきましては9月29日に開催される北海道理学療法士50周年記念祝賀会において表彰される予定となっております。

今号、次号ではAcademic PT特別編といたしまして、各賞を受賞された先生方にコメントをいただきましたので、それを掲載いたします。

学術奨励賞を受賞して

旭川リハビリテーション病院
内藤考洋

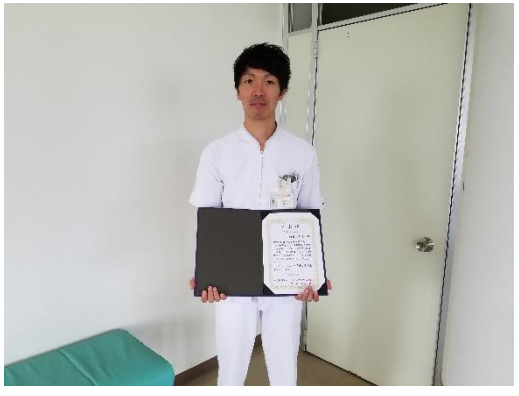
この度、「在宅脳卒中者の生活地域における歩行能力に関連する因子―運動機能、心理、社会的側面からの検討―」の表題にて投稿した論文が、幸運なことに平成30年度北海道理学療法学術奨励賞に選ばれました。

振り返ると、研究実施、学会発表、論文執筆といった学術活動は、臨床業務や支部学術・教育部での活動、ほんの少しの家族サービスと同時進行で行い、身を削る思いもしましたが、私の人生において、かけがえのない財産になっていると胸を張って言うことができます。研究の対象者の方はもちろん共著者をはじめとした職場の皆様、いつも支えてくれる家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

当院での受賞は今回の私で4度目となり、データの収集やデータディスカッション等においても多くのスタッフに関わっていただきました。また、3年前の旭川での道学会で多施設間共同研究を実施させていただいたことや、今まで職場や支部内・外で出会った尊敬する理学療法士の皆様からの御指導や刺激も活動の原動力となっております。改めて、私が身を置かせていただいている環境が素晴らしいかということを実感することができ、まだまだ未熟ではありますが、少しだけ自信もつきました。

微力ではありますが、患者様・対象者様の人生の一部に関わらせていただく者として、臨床のみならず、学術活動においても職場、そして支部の躍進に貢献できるよう日々精進していく所存です。

今後とも、何卒、宜しくお願い申し上げます。



社会分野奨励賞を受賞して
～地域に根差した活動を目指して～

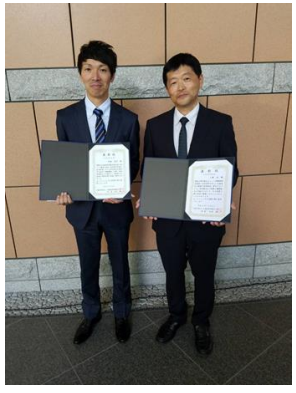
森山メモリアル病院地域ケア支援センター
小林　浩

この度は、社会分野奨励賞という大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。推薦いただきました道北支部役員の皆様、また選考いただきました北海道理学療法士会の皆様にも感謝申し上げます。

振り返れば自分の働き方設計の中に、人生の後半は地域に根差した活動を行っていきたい強い思いがありました。介護保険が始まった頃を思い返しても病院の外にはリハ専門職は皆無であり、入院中のリハの効果を継続的に活かし生活面につなげていくことができるスタッフがいない状況でした。

救命救急の分野から勇んで在宅部門に出たものの、自分の生活機能を捉える視点の狭さや応用性のなさに気づきました。それぞれの分野には専門性があり、それを大切に生かさないといけないことを感じ、それ以後在宅や地域でのリハ専門職の拡充に力を入れてきました。時は流れ介護保険が浸透し、地域包括ケアシステムが求められる現段階であっても、在宅や地域におけるリハの関心は高まるもリハ職の配置は少ない状況があり、まだまだ開拓の余地がある分野だと感じています。

これからの時代は、「訪問」や「在宅」、「地域」のつく分野は益々求められる分野になっていくかと思われます。また病傷後の方だけではなく、一般住民の介護予防の視点も求められていくでしょう。リハ職の配置は、病院のそれを上回ることも考えられます。現在、地域への貢献はまだまだ道半ばの状況だと思っています。これからも礎になり、多くの後輩達に道をつくっていただくことを支援することで、北海道の地域支援に貢献していきたいと思います。



道北支部掲示板

～学術部より重要なお知らせ～

支部事業に関しては完全事前申し込み制を導入いたしております。これは当日の突発的なキャンセル防止、運営スタッフの負担軽減を主目的に行っております。ついては、事業の申込締切日時点までのものを有効としています。従いまして、事業に関しては事前申し込みがない方が、直接、会場に来場した場合は受講不可となります。また、事前申し込みをしたが期日までに事前入金をしていない場合も同様の扱いとなります。

また、今年度より領収書の発行にも事前の申込みが必要となっております。事業当日は事前に申し込みがなければ領収書は発行できませんのでご注意ください。

協会主催の研修会等には必ずご持参下さい！！

第3回　道北理学療法学術大会
演題募集要項

演題募集期間

平成30年10月2日～平成30年12月2日

1. 応募資格

・北海道理学療法士会会員が応募可能です。

・北海道ブロック以外の日本理学療法士協会
会員も応募可能ですが、応募多数の場合は道北支部会員を優先致します。

※ 応募の際には必ず「日本理学療法士協会年会費」を納入の上、ご応募願います。

2. 応募方法

・演題申込用ファイルをダウンロードし、下記注意事項に留意して、必要事項を記入後、下記メールアドレスへご送付願います。

演題申込メールアドレス　douhokugakkai@gmail.com
※件名を「演題申込」としてください。
※お間違えのないようご注意ください。

役員会議議事録

平成30年度　第3回　北海道理学療法士会道北支部役員会議
日付：平成30年9月18日（火）
時間：19:00～20:30
場所：旭川市民活動交流センターCoCoDe
出席者(13名)：前田・千葉・齊藤・内藤・岩滝・太田・片野・尾形・小林・橋本・阿部・近藤

議題：理事・支部長報告
内容：
(1)理事活動報告
9月15日　北海道理学療法士会理事会
・旅費、交通費の規定に変更があった。
・講師料の内規が変更された。
・先日のH30年北海道胆振東部地震の件で道内でも各地で研修会等が中止になった。今後研修会等のキャンセルポリシーを作成していくことになった。
・社会部などの派遣事業は、会員（休会を除く）のみとしていく。
・H30年北海道胆振東部地震の災害支援が先週から行われている。推薦人がいれば推薦していく。
結果：承認

議題：事務部報告
内容：
(1)事務部活動報告・予定
・9月末に支部ニュースを発行予定。
・Facebookページの運用を開始して2ヶ月が経過．特に問題なく運用ができている。
結果：承認

議題：学術教育部報告
内容：
(1)支部研修会開催報告
8月12日 山田実氏（テーマ：地域在住高齢者に対する評価と運動処方～予防介入の実践に向けて）参加者66名
7月18日 第1回症例検討会（小児部門） 参加者18名
9月13日 第2回症例検討会（中枢部門） 参加者41名
(2)その他
次年度は、支部主催の新人教育プログラム研修会が廃止される予定（事業増加、e-ラーニングの活用ができる状況を勘案して）
結果：承認

議題：職能部報告
内容：
(1)職能部活動報告
・H30年度旭川市地域リハビリテーション活動支援事業経過報告
HARP報告書等で把握している件数～25サークル（PT報告）
現在まで震災被害等含めトラブル報告なし
・H30年度 あさひかわリハビリ体操指導士3級養成講座位について
今年度は北星地区センター、末広地区センター、東地区センターの3会場にて実施終了している。
・H30年度施設管理者研修会について
道士会内に管理者関連特別委員会を設置し、今年度においても研修を検討する予定であるが、震災の影響があり検討が遅れている状況。
結果：承認

議題：会計部報告
内容：会計状況報告
結果：承認

議題：社会部報告
内容：
(1)社会部活動報告
6月26日～7月3日 第100回全国高等学校野球選手権大会 北北海道大会 旭川支部予選
6月30日～7月1日 第100回全国高等学校野球選手権大会 北北海道大会 名寄支部予選
7月14日～7月22日 第100回全国高等学校野球選手権大会 北・北海道大会
7月15日 理学療法週間事業
(2)社会部活動予定
9月7日～9月18日 第71回秋季高等学校野球大会旭川支部予選、名寄支部予選
9月20日 第2回健康安全運転講座
9月30日 第10回旭川ハーフマラソン
結果：承認

議題：地区幹事報告
内容：
上川中部地区
1.上川中部地域リハビリテーション推進会議：作業部会7月26日　8月23日　9月13日（月1回程度）
2.旭川市医療・介護連携推進検討会　8月20日
→準備会　7月12日　9月27日（予定）
3.上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会：7月6日
4.地域キャラバンin稚内への協力

上川北部地区
1.上川北部地区PTOTST合同勉強会：隔月開催
　7月19日
「行政におけるリハビリ職の役割」名寄市立総合病院　千葉OT
「脳卒中における治療の考え方～感覚システムと姿勢制御～」名寄市立総合病院　伊藤PT
　9月20日（予定）
「子どもの発達と発達障害について」 士別こども通園センターのぞみ園所長 猪瀬幸江氏
「姿勢ケアとポジショニング」　臨生会吉田病院　吉田篤OT

宗谷地区
1.地域キャラバンin稚内：10月13日（予定）
2.広域支援センター症例検討会：9月29日（予定）
　広域支援センター多職種研修：10月20日（予定）
3.高野連サポート：7月1日、9月15日、16日

留萌地区
1. 7月19日
　平成30年度第１回留萌保健医療福祉圏域連携推進会議 在宅医療・ケア専門部会
2. 8月21日
　留萌保健医療福祉圏域連携推進会議　在宅医療・ケア専門部会
　北海道留保健所（北海道留萌振興局保健環境部保健行政室）
　留萌保健医療福祉圏域連携推進会議　在宅医療・ケア専門部会
　留萌市・増毛町・小平町主催 「医療と介護の連携研修会」～薬の管理と多職種連携～
3.症例報告会：10月20日開催予定

富良野地区
1.HARPによる介護予防活動の継続（講演活動やドーミンリハ体操指導、サポーター養成講座）
　サポーター養成講座　1回目7月7日　34名参加　2回目10月28日（予定）
2.富良野市との事業（新規の体操サロン立ち上げに向けた活動）
結果：承認

議題：次回の支部役員会議について
内容：
・次回の支部役員会議は10月23日（旭川市市民活動交流センターCoCoDe）
結果：承認

文責者：道北支部　事務部　部長 阿部　慎一

＜次号予定＞

- ✓ **Academic　PT**
- ✓ **支部事業活動報告**
- ✓ **道北支部掲示板**
- ✓ **役員会議議事録**

～編集後記～

　9月6日に北海道胆振東部地震が発生しました。被害を受けられた皆様方に、心からお見舞い申し上げます。
　旭川でも震度4を観測し、今までにない揺れを経験いたしました。地震直後から停電となり、オール電化の我が家は何も機能せずでした。また、土地柄的に普段から防災対策等ほとんどしていなかったため、電気復旧までの1日半は色々と大変でした。これから寒い冬の季節になります。今回の地震を教訓として油断せずに防災対策をしたいと思います。
　また、個人的にできることは「NO MORE　自粛」だと思っています。ほとんど被害の出なかった地域は経済を回して北海道を活気づけるということが大切です。
　会員の皆様も自分のできることをして、地震復興をしていきましょう！

問い合わせ先　北都保健福祉専門学校　近藤伸英
E-mail:kondoun@hokuho.ac.jp